

亜硝酸剤一覧表

一般名	剤形	商品名	会社名	規格	効能・効果	通常用法・用量	効果発現時間 (min)	効果持続時間 (hr)	半減期 (min)	備考
亜硝酸 アミル	吸入	亜硝酸アミル	第一三共	0.25mL/管	①狭心症 ②シアン及びシアン化合物による中毒	①1回 0.25mL ②添付文書参照	約0.5以内	4~8min	—	・アンプル封入→使用、携帯に不便 ・刺激臭
ニト グ リ セ リ ン	舌下錠	ニトログリセリン	日本化薬	0.3mg/錠	・狭心症 ・心筋梗塞 ・心臓喘息 ・アカラジアの一時的緩解	1回 0.3~0.6mg	1~2	約1	$\alpha : 2.0 \sim 3.8$ $\beta : 10$	・ニトログリセリンは揮発性で製剤が劣化しやすいので3~6カ月で新品と交換 ※ニトロペン: ニトログリセリンの揮発性を抑えた安定化製剤
		ニトロペン								
	点滴	ミリスロール注	日本化薬	1mg/ 2mL/管 5mg/ 10mL/管 25mg/ 50mL/瓶 50mg/100mL/瓶	①手術時の低血圧維持 ②手術時の異常高血圧の救急処置 ③急性心不全(慢性心不全の急性増悪期を含む) ④不安定狭心症	①1~5 μ g/kg/min ②0.5~5 μ g/kg/min ③0.05~0.1 μ g/kg/min ④1~2 μ g/kg/min	速やか	点滴静注中	$\alpha : 0.5$ $\beta : 5$	・速効性で血中濃度のコントロールが容易 →不安定狭心症や急性心不全に有用 ・点滴および静注開始後速やかに効果が発現し、中止後速やかに効果は消失
		パソレーター注	三和化学	1mg/ 2mL/管 5mg/ 10mL/管 25mg/ 50mL/瓶 50mg/100mL/瓶	④不安定狭心症	④1~2 μ g/kg/min				
スプレー	ミオコールスプレー	アステラス	6.5mg/1g (0.3mg/1噴霧)	・狭心症発作の寛解	1回 1噴霧	1~2	約0.5	$\alpha : 3.0$	・患者の携帯、使用性に優れる ・アルコール含有のため軽度の灼熱感	
硝酸 イソルビド	舌下錠 内服	ニトロール錠	エーザイ	5mg/錠	・狭心症 ・心筋梗塞 ・その他の虚血性心疾患	・発作時(舌下) 1回 5~10mg ・発作時以外(内服/舌下) 1日15~40mg 分3~4	・舌下 2 ・内服 30	・舌下 1.5~2 ・内服 3~5	・舌下 $\alpha : 7.5$ 、 $\beta : 55.2$ ・内服 $\alpha : 18.2$ 、 $\beta : 93.5$	・発作の緩解は、ニトログリセリンに比べ薬理作用が弱く、効果発現も遅い →発作の予防薬
	徐放剤 内服	フランドル	アステラス	20mg/錠	・狭心症 ・心筋梗塞 (急性期を除く) ・その他の虚血性心疾患	1日 40mg 分2	約60	8~12	—	・硝酸イソソルビドの徐放化製剤 →1日2回投与が可能
		ニトロールR	エーザイ	20mg/カプセル						
	点滴	ニトロール	エーザイ	0.05%/ 10mL/管 0.05%/100mL/袋 0.05%/200mL/袋 5mg/ 10mL/筒 25mg/ 50mL/筒	①急性心不全(慢性心不全の急性増悪期を含む) ②不安定狭心症 ③冠動脈造影時の冠れん縮寛解 ※ニトロール注5mgのみ③の適応あり	①1.5~8mg/hr 増量は10mg/hrまで ②2~5mg/hr ③5mg	速やか	1(ivの場合)	$\alpha : 6.3$ $\beta : 109.1$	・速効性で血中濃度のコントロールが容易 →不安定狭心症や急性心不全に有用
		サークルス注	高田	0.05%/ 10mL/管 0.05%/100mL/瓶 0.1%/ 5mL/管 0.1%/ 50mL/瓶 0.1%/100mL/瓶						
スプレー	ニトロールスプレー	エーザイ	16.35mg/1g (1.25mg/1噴霧)	・狭心症発作の寛解	1回 1噴霧	1~2	0.5~2	$\alpha : 7.5$ $\beta : 55.2$	・患者の携帯、使用性に優れる ・アルコール含有のため軽度の灼熱感	
一硝酸 イソルビド	内服	アイトロール	アステラス	10mg/錠 20mg/錠	・狭心症	1日 40mg 分2 (効果不十分時: 40mg)	30~60	8~12	5.0±0.3hr	・硝酸イソルビドの活性代謝物 ・肝での初回通過効果を受けにくい →安定した血中濃度

貼付剤：経皮吸収型虚血性心疾患治療剤一覧表参照

—：データなし